

第1号議案 平成22年度実績報告、決算承認及び監査報告に関する件

事業報告

平成22年度を顧みますと、小惑星探査機「はやぶさ」の地球帰還、2人の日本人がノーベル化学賞を受賞する快挙が相次いで報告され、日本の高い技術力が世界に誇れた年でありました。

その一方、宮崎での口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの発生、300年ぶりとなる新燃岳の噴火やラニーニャ現象による世界各国の大規模な水害、3月11日の東日本大震災など、日本国中を震撼させる災害が相次ぎ、経済の深刻な長期低迷を続ける我が国にこれ以上ない大ダメージをもたらしました。

産業廃棄物業界においては、更なる廃棄物の適正処理の確保と循環的利用の促進のため、5月に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部を改正する法律」が成立、公布されました。この改正により、建設工事に伴い生ずる廃棄物について、元請業者の排出者責任が明確化されたほか、優良な産業廃棄物処理業者について許可の有効期間を延長する特例が創設され、産業廃棄物業界の優良化を積極的に進める取り組みが行われています。

当協会本部の活動としましては、各支部単位での不法投棄廃棄物パトロールや撤去作業の実施、各支部役員の協力により「災害時における廃棄物の処理等の支援活動に関する実施細目協定書」を各市町村と締結するなど、地域に根付いた事業活動を行い、「信頼」される業界団体として成長しています。

また、地球温暖化対策にも積極的に取り組み、全国産業廃棄物連合会が実施しました「CO₂ マイナスプロジェクト」では当協会青年部の協力により、エントリー率で全国一位となり、都道府県協会の中でも注目される存在となっています。

以上のことを踏まえ、平成22年度事業の執行状況についてご報告いたします。